330

温かく迎える仕組みづくり

(産業労働局観光部/一般会計)

事	業	開	始	平成	14	年度
事	業	終	期	平成	33	年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

- 観光は、すそ野が広く、運輸や宿泊、飲食業など 多くの産業に経済波及効果をもたらす重要な産業で あるものの、平成12年には日本から海外への旅行者 が年間1,780万人に達していたのに対し、日本を訪 れる外国人旅行者はその4分の1の476万人にとど まり、国際旅行収支は3兆3千億円と大幅な赤字で あった。
- 都ではこうした状況を打開するため、13年11月に 「東京都観光産業振興プラン」を策定し、外国人旅 行者の誘致に取り組んでいくこととした。
- 本事業は「東京都観光産業振興プラン」に基づき、東京を訪れる外国人旅行者に対し、歓迎するメッセージを伝え、温かく迎える取組として実施しているものである。

根拠法令等

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

- 「東京都観光産業振興プラン」に基づき、平成14年度から空港等に歓迎するメッセージを入れたウェルカムボードを設置し、海外からの旅行者を温かく迎え入れる仕組みづくりに取り組んできた。(27年度実績1か所、28年度計画3か所)
- また、歓迎メッセージのほか、都内の地図や観光施設・交通機関の案内、緊急時連絡先案内、施設割引券等がセットになったウェルカムカードを作成し、空港や宿泊施設等で配布する取組を行ってきた。

(27年度実績391.5万部、28年度計画647.1万部)

○ 本事業の実施により、旅行者が気持ちよく東京を 訪れることができるとともに、東京滞在中の利便性 が図られている。

3 どのような課題や問題点があったか

- ウェルカムボードについては、歓迎するメッセージ を掲示していたが、再訪意欲の醸成につなげる送迎メ ッセージは掲示されていなかった。
- また、ウェルカムカードについては、東京の地図を 掲載した「ハンディマップ」と、都内主要観光地の情報を掲載した「ハンディガイド」を作成していたため、旅行者は2種類のウェルカムカードを携帯する必要があった。

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

- ウェルカムボードの設置により、外国人旅行者を迎え入れる体制は整備されているものの、送迎の際のアプローチが事業として体系立てられていない。
- ウェルカムカードがマップとガイドの2つに分かれていることで、携行する旅行者側の不便さのみならず、設置場所の在庫管理が煩雑になる、配架場所がかさむなどの課題が生じている。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実 見直し・再構築 移管・終了

○ 上記の課題解消に向け、ウェルカムボードについては、再訪意欲の醸成につなげるために送迎メッセージを掲示するとともに、メッセージ設置箇所を追加し、歓送迎の意を確実に旅行者に対して訴えることができるよう改善する。

その他

○ また、ウェルカムカードについては、現行2種類の ものを携帯しやすいよう1冊に統合し、旅行者の利便 性を向上させるとともに、2種類の冊子を1冊にする ことにより、経費縮減を図る。

	27年度決算額	_	千円	#	27年度決算額	,	千円
歳入	28年度予算額	_	千円	歳出	28年度予算額	200, 104	千円
	29年度見積額	_	千円	I	29年度見積額	307, 410	千円

6 29年度予算で、どのように対応したか

拡大・充実 見直し・再構築 移管・終了

○ ウェルカムボードに送迎映像を掲出することで、歓迎から送迎までの東京への受入体制が整い、送迎時の「再訪意欲の醸成」に繋がる取組となった。

その他

○ また、ウェルカムカードの統合により旅行者の利便 性向上を図れるとともに、経費の縮減を図れることか ら、経費の一部を精査した上で、所要額を計上する。

歳入	29年度予算額		千円
歳出	29年度予算額	302, 010	千円